



# KICK OFF 通信

人財を活かせ！ f-Biz(エフビズ)が全国へ発信中

## ◆今の支援・振興策の限界

日本経済の基盤を支える中小零細企業に関して、その人材不足や資金繰り等は、喫緊の課題です。従来より、政府のみならず多くの自治体が「中小企業振興策」の一環として、相談窓口を設けてコンサルタント業務や支援のための仲介・斡旋業務をしてきました。

しかし、どれ1つとっても「帯に短しタスキに長し」といった具合で、実効力が薄いのではないのでしょうか。確かに、行列をなすほど相談者が押し寄せている窓口を見たことはありません。

## ◆本来あるべき支援とは・・・

実際に立派な建物があり、充実した支援制度も揃っているようなのに、何故その成果が出ないのでしょうか…。地域を回って感じるのですが、支援の制度や活用法について、その仕組みも複雑で、かつ利用しようとするならば、申請書類の整備や審査に時間が掛かり過ぎます。これでは必要とするタイミングを逸してしまうのではないのでしょうか。

そして支援機関側も、自分たちの仕事は事業のプラン作りにあると思っている風があります。理想的なプランを作成するとは裏腹に、それに見合わない相談者の経営手腕を分析しては、マイナス点ばかりを指摘し、否定的なアドバイスを繰り返しているのが現実です。これでは相談者のやる気や可能性の芽を摘んでいるのと同じでしょうし、根本的な解決には程遠いと言わざるを得ません。

まずやるべきことは、売り上げを順調に伸ばしていく事業にするための知恵やアイデアを提供すること。外形的な支援策にこだわるのではなくて、現在その会社が保持している資源(人や設備、お金など)につき、その地域性や、社会的なつながりを重視しつつも、有機的に繋がっていくための手立て、仕掛け、仕組み作りが不可欠と言えます。

## ◆社会的な波紋は富士市から

「自分ならこの商品・製品を買いたいと思うか」「どんなことをすれば、相手が買いたいと思う品に変わる

のか」「どのような広告を打てば、商品の良さが消費者に伝わるのか」、

企業経営者ならば、日々このような課題を抱えながら戦っております。先ず、それに的確に応じてくれる専門的なアドバイザー役および機関が、2008年8月に富士市で立ち上がりました。名付けて「f-Biz」。

「お金をかけずに、いかに売り上げを伸ばす仕組みを作るのか」、これがf-Bizのモットーです。相談者が必要とするのはメニューではなくて、発想の転換と斬新なアイデアでしょうか。そこで、専門的な知識やノウハウ、経験を備えた人材を公募することからスタートしました。

あれから10年が経過した今、既に全国20の自治体にこうした人材の発掘と採用がされております。昨年8月には、「全国Bizサミット」も開催されました。各機関が自身の取り組み事例などを発表し、互いに切磋琢磨する光景には感動を覚えます。

何より目線は常に経営者側の視点であること、これをベースにさらに全国展開できるよう後押しをしていきたいと思えます。



水み  
と  
たけ  
むら  
ち

## 【プロフィール】

昭和37年 7月28日 北海道生まれ 藤沢育ち  
神奈川県立湘南高校・慶応義塾大学卒業後、サラリーマン生活を経て代議士秘書に・・・

平成 4年 「税は国家なり」との思いで始めた税理士試験に合格  
平成 7年 県議会議員初当選～平成19年まで連続3期  
平成19年 第21回 参議院議員選挙 当選  
予算委員会・ODA委員会などの理事を歴任

平成26年 第47回 衆議院議員選挙 当選  
総務委員会 & 沖縄・北方領土特別委員会 両理事  
国土交通委員会ならびに厚生労働委員会 委員  
民進党・副幹事長 エネルギー調査会事務局次長

平成29年 第48回 衆議院選挙出馬せず下野する  
平成30年 一般社団法人 人づくり・国創り研究会を設立

前衆議院議員 / 元参議院議員